

Q

学校の給食はどうなっているのかな？

給食について

食物アレルギーのある児童生徒の給食の対応は、医師の診断と指示に基づいて行います。また、安全性を最優先し、原因食物の完全除去対応が基本となります。給食の提供におけるアレルギー対応には、以下のような種類があります。最適な対応レベルの組み合わせを考えて、実施します。

給食の対応レベルは1～4の4段階となります。

【レベル1】詳細な献立表対応

・学校給食の原材料を詳細に記入した献立表を家庭に事前に配布し、それを基に保護者や担当などの指示もしくは児童生徒自身の判断で学校給食から原因食物を除去しながら食べる対策のこと。すべての対応の基本であり、レベル2～4でも詳細な献立表対応は行います。





【レベル2】弁当対応(完全弁当対応又は一部弁当対応)

・普段除去食や代替食対応を実施している中で、除去が困難で、対応が出来ない場合に弁当を持参させます。

○完全弁当対応:全ての料理において、弁当を持参します。

○一部弁当対応:除去食や代替食対応が困難な料理のみ持参します。

【レベル3】除去食対応

・申請のあった原因食物を除いた学校給食を提供します。

【レベル4】代替食対応

・申請のあった原因食物を学校給食から除き、別も食品を用いて給食を提供します。

給食の対応レベルは、学校や調理場の設備や人員、作業ゾーンなどを総合的に判断して決定されます。